

(別紙4(2))

事業所名 (有)ケアコスモス グループホームほのぼの

## 目標達成計画

作成日: 平成 27年 1月 13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践 研修会への参加や勉強会を行い職員が身体拘束を正しく理解出来るように工夫して欲しい。やむを得ず拘束を行う場合も、常に解除に向けた話し合いを行い、身体拘束を行わないケアに取り組んで欲しい。	身体拘束を出来る限りしない。やむを得ない場合は、拘束時間を最短で済むように計画する。	安全面で危険のリスクが高い場合、プラン内容に拘束の必要性を説明し、本人、家族に了解を取り、明確な拘束時間と解除時間の記入表を作成する。記入の担当を決め、記録に残す。必要性について、ミーティング、カンファレンスで話し合い、拘束時間を少なくしていく努力をする。職員の外部研修、内部研修の充実を図る。	12ヶ月
2		職員の介護計画の意義、大切さの理解が深まるように取り組んで欲しい。職員の気付きや思い、家族の要望などを職員間で話し合い、介護計画が作成出来るように取り組んで欲しい。	職員が全員、利用者の介護プランについて知事が出来る。	職員の行動言動がプランに反映していると考えていたが、直接プラン内容の把握につながっていなかった。これからは、ケースカンファレンス毎にプラン内容を職員と見直し、全体の介護プランを共有出来るようにしていく。家人にも電話や来所時確認し、プランに反映させてゆく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。